

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 04-001

PDCA	事務事業名	男女共同参画社会推進事業	部課等名	企画部 市民協働課 市民協働担当	担当	岩田	
					内線等	236	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち 節： 第3節 共生社会の形成 基本施策： 1. 男女共同参画社会の実現 単位施策： (1) 共同参画意識の醸成と参画しやすい環境づくり 個別施策： ①男女共同参画意識の向上					
	根拠法令等	半田市男女共同参画推進条例					
	対象・目的	男女共同参画社会を推進するため、市民の男女共同参画への理解促進を図る。また、第2次半田市男女共同参画推進計画を着実に遂行するため、各施策の進捗状況の把握・検証を行う。					
	目的を達成するための手段・活動内容	男女共同参画の理解促進のため、市民講座、職員及び教職員研修を開催する。市民団体が実施する啓発事業を支援するため補助金を交付する。男女共同参画推進計画の進捗を管理するため、有識者、市民等で組織する審議会を開催する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		①市民向け講座開催数	3	2	1	回	
		②男女共同参画審議会開催回数	3	3	3	回	
		③職員及び教職員向け研修会受講者数	169	120	120	人	
		事業費	1,145	878	705	千円	
		人件費	2,538	2,626	2,611	千円	
		総事業費	3,683	3,504	3,316	千円	
		活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位	
	成 果	①職員及び教職員研修に係るコスト	488	625	625	円	
		②					
		③					
		成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		①市職員対象男女共同参画講座受講率(5年間で完了)	実績値	58	74	91	%
		目標値	60.0	80	100		
②各男女共同参画社会推進事業参加者数	実績値	-	1,050	1,213	名		
	目標値	-	900	900			
	実績値						
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ある
	事業の評価・課題	C 「男女共同参画の日」イベント内にて、前年度に実施した落語の上演に加え、新たに若年層向けの映画上映を実施したことにより、推進事業の参加者数について目標を達成することができた。また、市職員対象の講座受講率については、既に9割以上の職員が受講済みであるが、今後も受講率100%を目指し、講座の開催時期や方法論について検討していく。					
		改善推進					
		市民向け講座を開催するにあたり、参加者が興味・関心を持ちやすいテーマを設定するとともに、当該事業の推進の一翼を担う市民団体の協力を得ながら男女共同参画の啓発を進めていく。また、講座・イベントだけでなく、懸垂幕の作成やデジタルサイネージを活用した広報等、新たな啓発方法を検討していく。					
		今後の事業の方向性					
			令和2年度の目標	成果指標	目標値	単位	
				①各男女共同参画社会推進事業参加者数	1,000	人	